

東京都医療機能実態調査  
(在宅医療機能に係る実態調査)

《歯科診療所票》

本調査は、東京都保健医療計画の在宅療養に関する内容の見直し及び都における在宅療養推進の取組の検討の際の基礎資料とするために実施します。

歯科訪問診療を実施していない医療機関を対象とした設問もございますので、すべての医療機関において御回答くださいますようお願いいたします。

所在地

診療所名

医療機関コード

--

《本調査票の記入日・御連絡先について》

調査票記入日	2025年 月 日	連絡先電話番号	( )-( )-( )
		メールアドレス	( )

<注意事項>

- ◆このアンケート調査は、「東京都医療機能実態調査」です。「医療機能情報報告」とは異なる調査ですので、御注意ください。
- ◆設問には、別記がある箇所を除き、2025年8月1日現在の状況についてお答えください。
- ◆数値を記入する設問で、該当する者・施設等がない場合は、「0」(ゼロ)を御記入ください。



Q8.1 週間当たりのおおよその**歯科訪問診療件数**を御記入ください。

1週間当たりのおおよその歯科訪問診療件数： 件

※ 同一建物の患者の場合、患者ごとの件数を計上してください（同一建物の患者を2名診た場合、2件とカウント）

Q9. 歯科訪問診療を行った患者について御回答ください。

① 貴院で2019年、2023年、2024年の6月中に訪問診療を行った**患者の実人数**を御記入ください。

	2019年6月	2023年6月	2024年6月
訪問診療を行った患者の実人数	( )人	( )人	( )人

② 上記で回答した2019年6月と2024年6月を比較し、2024年6月の方が訪問診療を行った患者の実人数が**増えた場合**、その理由として考えられるものを選択してください。（複数回答可）

- 01 高齢患者の増加により、訪問診療のニーズが高まったため
- 02 コロナ禍を機に、通院回避・在宅志向が定着したため
- 03 家族やケアマネジャーからの依頼が増加したため
- 04 施設（有料老人ホーム、グループホーム等）への訪問が増加したため
- 05 地域内で在宅医療を行う診療所が減少し、当院の対応範囲が拡大したため
- 06 地域包括ケアや在宅医療推進の政策的な流れを受けて対応を拡大したため
- 07 訪問診療の診療報酬が改善され、経営的に実施しやすくなったため
- 08 近隣の医療機関や訪問看護ステーションとの連携体制が整備されたため
- 09 医師の人員体制が充実し、訪問診療に充てられる時間が増えたため
- 10 その他（自由記述）

③ 上記で回答した2019年6月と2024年6月を比較し、2024年6月の方が訪問診療を行った患者の実人数が**減った場合**、その理由として考えられるものを選択してください。（複数回答可）

- 01 患者の死亡や他院への転院、病院・施設入所により、訪問診療対象者が減少したため
- 02 在宅医療に対する患者・家族のニーズが減少したため
- 03 コロナ禍以降の在宅医療ニーズの一時的増加が落ち着いたため
- 04 訪問診療の報酬体系が見直され、実施の採算性が低下したため
- 05 訪問看護や他の在宅サービスとの役割分担の見直しがあったため
- 06 地域の他の医療機関が訪問診療を開始し、分担が進んだため
- 07 担当医師の退職・減少などにより、訪問診療に対応する人員が不足したため
- 08 外来診療の需要が高まり、訪問診療に割ける時間が減少したため
- 09 医療資源や運営上の都合により、新規患者の受け入れを制限しているため
- 10 その他（自由記述）

Q10. 【開設者が法人の医療機関のみ御回答ください】

**自院以外で、同じ法人内に、歯科訪問診療を行っている診療所**がありますか。該当する番号1つに○を付けてください。同じ法人内に歯科訪問診療を行っている診療所がある場合は、都内・都外それぞれの診療所数（自院を除く）を御記入ください。

- 01 同じ法人内に、歯科訪問診療を行っている診療所がある  
都内： 箇所 / 都外： 箇所
- 02 同じ法人内に、歯科訪問診療を行っている診療所がない

Q11. 貴院の**在宅療養支援歯科診療所の届出状況**について、該当する番号1つに○を付けてください。届け出ている場合は、在宅療養支援歯科診療所の種別について該当する番号1つに○を付けてください。

- 01 届け出ている
  - ① 在宅療養支援歯科診療所 1
  - ② 在宅療養支援歯科診療所 2
- 02 届け出していない



Q15. 貴院における他の医療機関との連携状況と、連携に際しての課題について御回答ください。

① 日頃から連携している**医科**の医療機関の有無について、該当する番号1つに○を付けてください。

01 連携する医科の医療機関がある                      02 連携する医科の医療機関はない

② 医科の医療機関と連携する上での課題として、該当する番号に○を付けてください（複数回答可）。

- 01 情報共有の不足
- 02 連携体制の不明確さ
- 03 考え方・治療方針の違い
- 04 連携先の医療機関の対応の遅さ
- 05 連携先の医療機関の専門性の不足
- 06 その他（具体的に記入してください）

③ 日頃から連携している**歯科**の医療機関の有無について、該当する番号1つに○を付けてください。

01 連携する歯科の医療機関がある                      02 連携する歯科の医療機関はない

④ **歯科**の医療機関と連携する上での課題として、該当する番号に○を付けてください（複数回答可）。

- 01 情報共有の不足
- 02 連携体制の不明確さ
- 03 考え方・治療方針の違い
- 04 連携先の医療機関の対応の遅さ
- 05 連携先の医療機関の専門性の不足
- 06 その他（具体的に記入してください）

Q16. 過去1年間において、**歯科訪問診療の患者及びその家族からのハラスメント行為の有無**について、該当する番号に○を付けてください。（複数回答可）

- 01 身体的な暴力を受けた
- 02 言葉による暴力を受けた
- 03 身体的な性的な嫌がらせを受けた
- 04 言葉による性的な嫌がらせを受けた
- 05 無

Q17. **歯科訪問診療の患者及びその家族からのハラスメント行為への対応策**について御回答ください。

① 対応策の有無について、該当する番号1つに○を付けてください。

01 有 →②へ                      02 無 →③へ

② 対応策を講じている場合の具体的な対応策について、該当する番号に○を付けてください（複数回答可）。

- 01 防犯機器の導入
- 02 訪問体制の見直し（複数職員で訪問するなど）
- 03 対応マニュアルの策定
- 04 研修受講や関連書籍の購読
- 05 教育・トレーニング
- 06 警察との連携
- 07 その他（具体的に記入してください）

③ 対応策を講じていない場合、その理由について、該当する番号に○を付けてください（複数回答可）。

- 01 対応策を実施するための人員不足
- 02 対応策を実施するための経費負担
- 03 対応策を実施するための知識不足
- 04 優先順位の低さ
- 05 ハラスメント行為を受けたことがない
- 06 その他（具体的に記入してください）

Q18. 災害時の対応策について、該当する番号1つに○を付けてください。

① 災害時の対応策の有無について、該当する番号1つに○を付けてください。

01 有 →②へ                      02 無 →③へ

② 災害時の対応策を講じている場合の具体的な対応策について、該当する番号に○を付けてください（複数回答可）。

- 01 災害対策マニュアル等の策定
- 02 事業継続計画（BCP）（注）の作成
- 03 防災用品の備蓄
- 04 防災訓練の実施
- 05 その他（具体的に記入してください）

（注）BCP（業務継続計画）とは、自然災害や事故、感染症などの緊急事態において、事業を中断させず、また中断した場合でもできるだけ早期に復旧させるための計画を指します。

③ 災害時の対応策を講じていない場合、その理由について、該当する番号に○を付けてください（複数回答可）。

- 01 対応策を実施するための人員不足
- 02 対応策を実施するための予算不足
- 03 対応策を実施するための知識不足
- 04 優先順位の低さ
- 05 法制・規制の理解不足
- 06 その他（具体的に記入してください）

Q19. 歯科訪問診療の提供に当たって課題と感じていることについて、該当する番号に○を付け（複数回答可）、その中で最も課題と感じているものを選択してください。

- 01 多職種間での情報共有・コミュニケーションの難しさ
  - 02 緊急時対応等の体制整備の難しさ
  - 03 歯科医師・歯科衛生士の人材不足と負担
  - 04 経済的負担
  - 05 時間的な制約
  - 06 患者・家族からの期待とのギャップ
  - 07 医療的処置や設備の制約
  - 08 その他（具体的に記入してください）
- ⇒ 選択したもののうち、最も課題と感じているもの（            ）

Q20. これまで歯科訪問診療を実施する中で、**対応が困難だったと感じる患者の状態**について、当てはまるものを選び（複数回答可）、その中で最も対応が困難だったと感じる患者の状態を1つ選択してください。

- 01 独居の高齢者で、日常生活支援や急変時対応に不安がある
  - 02 認知症が進行した患者で、意思疎通や服薬管理が難しい
  - 03 精神疾患（統合失調症、不安障害など）を有する患者で、対応に専門的知識を要する
  - 04 家族との関係が不安定で、同意取得やケア方針に関する調整が難航する
  - 05 生活保護や経済的困窮等により、医療や介護サービスの導入が難しい患者
  - 06 夜間・早朝・休日の急変対応が必要となった患者
  - 07 終末期（看取り期）における意思決定が困難な患者
  - 08 医療的処置や管理が複雑（在宅酸素、CVポート、人工呼吸器など）な患者
  - 09 その他（自由記述）
- ⇒ 選択したもののうち、最も対応が困難だった感じる患者の状態（            ）



Q25. 上記設問で、歯科訪問診療を行った患者の実人数について、**居住場所別の患者数の内訳**を御記入ください。  
また、**同一建物居住者の**歯科訪問診療に該当する患者の実人数を御記入ください。

		うち、 <u>同一建物居住者の訪問診療料に該当する患者数</u>
自宅	( ) 人	—
養護老人ホーム・軽費老人ホーム	( ) 人	( ) 人
有料老人ホーム	( ) 人	( ) 人
特別養護老人ホーム	( ) 人	( ) 人
認知症高齢者グループホーム	( ) 人	( ) 人
サービス付き高齢者向け住宅	( ) 人	( ) 人
障害児入所施設・障害者支援施設（入所施設）	( ) 人	( ) 人
障害者グループホーム	( ) 人	( ) 人
マンション等の集合住宅	( ) 人	( ) 人
その他	( ) 人	( ) 人

Q26. **歯科訪問診療に関する知識・技術の習得方法**について、該当する番号に○を付けてください（複数回答可）。

- 01 研修プログラムの受講
- 02 歯科訪問診療への同行
- 03 事例検討会や個別相談会への参加
- 04 歯科訪問診療を行っている身近な歯科医に相談
- 05 その他（具体的に記入してください）

Q27. 貴院における歯科訪問診療で**対応可能な医療行為**として、該当する番号に○を付けてください（複数回答可）。

- 01 う蝕治療
- 02 歯周病治療
- 03 義歯の作製・調整・修理
- 04 摂食・嚥下リハビリテーション
- 06 口腔ケア
- 06 簡単な抜歯など外科的処置
- 07 その他（具体的に記入してください）

Q28. **食支援**について御回答ください。

① 食支援（義歯調整やう蝕・歯周病の治療は含みません）の実施状況について、該当する番号1つに○を付けてください。

- 01 実施している
- 02 実施していない

② ①で「01 実施している」を選択した場合、主要な実施方法について、該当する番号1つに○を付けてください。

- 01 自ら実施している
- 02 歯科診療所と連携して実施している
- 03 栄養ケアステーションと連携して実施している
- 04 訪問看護ステーション と連携して実施している
- 05 その他（具体的に）

③ ①で「01 実施している」を選択した場合、食支援に携わっている職種について、該当する番号に○を付けてください（複数回答可）

- 01 歯科医師
- 02 歯科衛生士
- 03 看護師
- 04 管理栄養士・栄養士
- 05 言語聴覚士
- 06 その他（具体的に記入してください）

④ ①で「02 実施していない」を選択した場合、その理由について、該当する番号1つに○を付けてください。

- 01 実施するための人員不足
- 02 実施するための予算不足
- 03 実施するための知識不足
- 04 優先順位の低さ
- 05 その他（具体的に記入してください）

**Q29. 訪問リハビリテーション等の提供状況について御回答ください。**

① 訪問リハビリテーション等の提供状況について、該当する番号に○を付けてください。（複数回答可）

- 01 自院で提供している
- 02 他施設との連携により提供している
- 03 提供していない

② ①で「02 他施設との連携により提供している」を選択した場合、提供しているリハビリテーションの内容について、該当する番号に○を付けてください。（複数回答可）

- 01 訪問リハビリテーション
- 02 老人保健施設の入所リハビリテーション
- 03 通所リハビリテーション（デイケア）
- 04 通所介護（デイサービス）における機能訓練
- 05 その他（具体的に記入してください）

③ ①で「01 自院で提供している」又は「02 他施設との連携により提供している」を選択した場合、訪問リハビリテーション等の提供に携わっている職種について、該当する番号に○を付けてください（複数回答可）

- 01 理学療法士（自院）
- 02 理学療法士（連携している他施設）
- 03 作業療法士（自院）
- 04 作業療法士（連携している他施設）
- 05 言語聴覚士（自院）
- 06 言語聴覚士（連携している他施設）
- 07 看護師又は准看護師
- 08 その他（具体的に記入してください）

④ ①で「03 提供していない」を選択した場合、その理由について、該当する番号1つに○を付けてください。

- 01 提供するための人員不足（特に訪問係）
- 02 提供するための経費負担
- 03 提供するための知識不足
- 04 優先順位の低さ
- 05 介護保険サービスとのすみ分けの難しさ
- 06 その他（具体的に記入してください）



Q34. 貴院における小児（15歳未満）歯科訪問診療の対応状況について、該当する番号1つに○を付けてください。

- 01 小児の歯科訪問診療に対応している → Q35へ  
02 小児の歯科訪問診療に対応していないが、今後小児の歯科訪問診療に対応する意向がある  
03 小児の歯科訪問診療に対応しておらず、今後も小児の歯科訪問診療に対応する意向がない → Q36へ

Q35. 【Q34で「01 小児の歯科訪問診療に対応している」と回答した医療機関にお聞きします】

貴院において、小児の患者に対する訪問診療で対応可能な医療行為について、該当する番号○を付けてください（複数回答可）。

- 01 う蝕治療  
02 口腔ケア  
03 口腔機能発達不全症への対応  
04 簡単な抜歯など外科的処置  
05 その他（具体的に記入してください）

Q36. 【Q34で「03 小児の歯科訪問診療に対応しておらず、今後も小児の歯科訪問診療に対応する意向がない」と回答した医療機関にお聞きします】

今後も小児の歯科訪問診療に対応する意向がない理由として、該当する番号に○を付けてください（複数回答可）。

- 01 対応の仕方が分からない、知識・ノウハウがない  
02 小児特有の多職種や関係機関との連携が難しい  
03 現状の外来・訪問診療が多忙で、小児の歯科訪問診療に対応できない  
04 小児の歯科訪問診療への対応について、これまで検討したことがない  
05 専門外である  
06 その他（ ）

Q37. 【Q34で「03 小児の歯科訪問診療に対応しておらず、今後も小児の歯科訪問診療に対応する意向がない」と回答した医療機関にお聞きします】

どのような支援があれば、小児の歯科訪問診療への対応ができると思いますか。該当する番号に○を付けてください（複数回答可）。

- 01 小児の歯科訪問診療に関する知識やノウハウを得るための研修等  
02 小児特有の多職種や関係機関との連携の充実  
03 医療処置や薬のことなど、小児の歯科訪問診療に関して相談できる環境  
04 病院との連携体制の充実  
05 診療報酬制度の充実  
06 その他（ ）

Q38. ICT（パソコン、スマートフォン、タブレット等）を活用した医療・介護関係者の情報共有ツール（※）について、御回答ください。

（※）地域の医療・介護関係者が、患者の在宅療養生活を支えるために、患者の状況について情報共有を行うシステムを指します

① 医療・介護関係者と患者情報を共有するために、ICTを活用した医療・介護関係者の情報共有ツールを使っていますか。

- 01 使っている →②へ                      02 使っていない →③へ

② 【①で「01 使っている」と回答した医療機関にお聞きします】使っている情報共有ツールに該当する番号に○を付けてください（複数回答可）。

※医療・介護関係者間の患者情報共有のために用いているツールをお答えください。

- 01 区市町村や地区医師会が導入している情報共有ツールを使っている
- 02 電子カルテ（医療機関内やグループ内での共有に活用）
- 03 電子カルテの外部連携機能（例：地域医療連携ネットワーク経由で他院・他職種と共有）
- 04 介護支援専門員（ケアマネジャー）などと共有する専用ICTツール（例：CareNet、MCSなど）
- 05 医療・介護関係者とのメールやクラウドストレージ（Dropbox、Google Driveなど）を活用している
- 06 院内開発・自前で構築したシステム（Excelベース、院内サーバ等）
- 07 その他（ ） ※使用しているツール名をご記入ください

③ 【①で「02 使っていない」と回答した医療機関にお聞きします】

今後、医療・介護関係者と患者情報を共有するために、ICTを活用した医療・介護関係者の情報共有ツールを用いる意向はありますか。

- 01 意向がある →Q39へ
- 02 意向がない →④へ

④ 【③で「02 意向がない」と回答した医療機関にお聞きします】

ICTを活用した医療・介護関係者の情報共有ツールを用いる意向がない理由について該当する番号に○を付けてください（複数回答可）。

- 01 ICTを用いなくても、問題なく情報共有できている
- 02 ICTを用いることで、業務量が増えることが懸念される
- 03 患者にとってのメリットが感じられない
- 04 地域（区市町村や地区医師会等）で導入が進んでいない
- 05 専用のタブレットやパソコン等の端末の購入、通信費等の負担が大きい
- 06 その他（ ） →Q42へ

Q39. 【Q5で「02 歯科訪問診療を実施していない」と回答した医療機関にお聞きします】

歯科訪問診療を実施していない理由として、該当する番号に○を付けてください（複数回答可）。

- 01 対応の仕方が分からない。知識・ノウハウがない。
- 02 地域における歯科訪問診療の資源が充足している（新規参入のニーズが感じられない）
- 03 外来診療が多忙なため、歯科訪問診療を実施できない
- 04 外来診療が自院の方針であるため、歯科訪問診療を実施しない
- 05 24時間対応できる体制が整っていない
- 06 病状変化時等に対応してくれる後方支援病床が確保できない
- 07 訪問看護師、介護支援専門員（ケアマネジャー）、薬剤師等の多職種や、関係機関との連携が難しい
- 08 歯科訪問診療のための機材や移動手段がない
- 09 採算性が悪い
- 10 歯科医師が高齢である
- 11 その他（ ）

Q40. 今後、歯科訪問診療を実施する意向はありますか。該当する番号1つに○を付けてください。

- 01 歯科訪問診療を実施する意向がある
- 02 歯科訪問診療を実施する意向がない
- 03 現時点では未定

Q41. **どのような支援があれば、歯科訪問診療ができる**と思いますか。該当する番号に○を付けてください（複数回答可）。

- 01 歯科訪問診療に関する知識やノウハウを得るための研修等
- 02 訪問看護師、介護支援専門員（ケアマネジャー）、薬剤師等の多職種や、関係機関との連携の充実
- 03 在宅療養に関して相談できる環境
- 04 病院との連携体制の充実
- 05 診療報酬制度の充実
- 06 24時間診療体制構築などの歯科医師会・行政のバックアップ
- 07 その他（

Q42. 貴院における**往診（注）の対応・実施状況**として、該当する番号1つに○を付けてください。

- 01 実施している →Q43へ
- 02 実施していない →Q44へ

（注）往診とは、予定外に患家に赴き診療を行うことを指します。

Q43. 【Q42で「01 実施している」と回答した医療機関にお聞きします】

貴院が**往診に対応できる時間帯**として、該当する番号1つに○を付けてください。

- 01 日中のみ対応可能
- 02 休日・夜間でも対応可能 →Q45へ

Q44. 【Q42で「02 実施していない」と回答した医療機関にお聞きします】

今後、**往診を実施する意向**はありますか。該当する番号1つに○を付けてください。

- 01 往診を実施する意向がある
- 02 往診を実施する意向がない
- 03 現時点では未定

Q45. 貴院の**地域における歯科訪問診療を充実**させるために、**重要だと思うもの（上位3つまで）**の番号に○を付けてください。

- 01 医療機関間の連携の充実
- 02 急性期医療機関の在宅療養への理解
- 03 診療所等在宅スタッフの退院前合同カンファレンスへの参加
- 04 医療職における介護知識の向上
- 05 介護職における医療知識の向上
- 06 緊急時受け入れ病床の確保
- 07 都民への理解促進
- 08 地域における在宅療養をコーディネートする窓口の充実
- 09 歯科医師の負担を軽減する支援体制
- 10 24時間診療体制構築などの歯科医師会・行政のバックアップ
- 11 多職種による連携
- 12 医療介護専用SNSなど情報共有ツールの利用
- 13 その他（具体的に記入してください）

Q46. 貴院の2019年度、2023年度、2024年度の外来患者、及び病院へ紹介した患者の延べ人数を御記入ください。

また、2019年度と2024年度を比較し、増減理由について考えられるものを選択してください。(複数回答可)

※入院患者は有床診療所のみ回答

外来患者数	2019年度	2023年度	2024年度
	( ) 人	( ) 人	( ) 人
増減理由	<p><b>【2019年度より2024年度の方が増加した場合】</b></p> <p>01 地域住民の高齢化が進み、歯周病等による受診が増えたため</p> <p>02 地域包括ケアやかかりつけ歯科医機能の強化政策により、日常的な受診が増えたため</p> <p>03 コロナ禍の受診控えが解消され、患者が戻ってきたため</p> <p>04 周辺人口が増加したため</p> <p>05 地域内の他院・診療所の閉院や縮小などにより患者が流入したため</p> <p>06 特定の診療科の評判や専門性が地域で認知され、紹介や来院が増えたため</p> <p>07 医師や職員の増員・交代により診療体制が充実したため</p> <p>08 診療時間の延長・予約制の導入などで受診しやすくなったため</p> <p>09 検診や予防医療の取り扱いを増やしたため</p> <p>10 施設や企業との契約・健診業務等で新規患者が増えたため</p> <p>11 その他(自由記述 )</p>		
増減理由	<p><b>【2019年度より2024年度の方が減少した場合】</b></p> <p>01 高齢化が進行し、通院困難となった患者が増えたため</p> <p>02 コロナ禍以降の受診控え傾向が長期化しているため</p> <p>03 競合する他院・診療所の新規開設やサービス拡充により患者が流出したため</p> <p>04 診療体制の縮小(医師数の減少・休診日増加など)により診療枠が減ったため</p> <p>05 オンライン診療や電話診療等の導入により来院者数が減少したため</p> <p>06 診療所の建替え・改修・一時閉鎖などにより受け入れ制限があったため</p> <p>07 診療報酬や制度改定により採算性の低い診療を縮小したため</p> <p>08 外来診療から在宅・訪問診療へのシフトを進めたため</p> <p>09 その他(自由記述 )</p>		
病院へ紹介した患者数	2019年度	2023年度	2024年度
	( ) 人	( ) 人	( ) 人
増減理由	<p><b>【2019年度より2024年度の方が増加した場合】</b></p> <p>01 患者の高齢化・重症化により、精密検査や入院治療が必要なケースが増えたため</p> <p>02 がん・循環器・整形外科疾患などで専門的治療を必要とする症例が増えたため</p> <p>03 患者の医療への関心が高まり、より専門的な治療・検査を希望するケースが増えたため</p> <p>04 紹介・逆紹介を推進する政策(地域医療支援病院制度など)を受け、紹介件数を意識した診療を行ったため</p> <p>05 病院との地域連携体制(紹介予約制・連携室など)が強化され、紹介しやすくなったため</p> <p>06 自院の設備・検査機能で対応できない症例が多くなったため(機器の老朽化など)</p> <p>07 コロナ禍後の医療体制の見直しで、初期診療の後方支援として病院の活用を増やしたため</p> <p>08 その他(自由記述 )</p>		
増減理由	<p><b>【2019年度より2024年度の方が減少した場合】</b></p> <p>01 軽症や慢性疾患の患者が多く、病院への紹介が必要なケースが減ったため</p> <p>02 高齢者が通院を控えたり、在宅療養への移行が進んだりしたため</p> <p>03 病院との連携や紹介のフローが煩雑で、患者が自主的に直接受診するケースが増えたため</p> <p>04 自院の医療機能(検査、処置など)を強化し、病院紹介が不要なケースが増えたため</p> <p>05 紹介先の病院が外来制限や診療縮小(特にコロナ禍)を行っていたため</p> <p>06 地域の病院の閉鎖や診療科縮小により、紹介先が限定され紹介件数が減少したため</p> <p>07 病院への紹介後、患者が不満・不安を抱き、紹介を控えるようになったため</p> <p>08 専門外来や高度医療へのアクセスが困難(予約困難、遠距離)になったため</p> <p>09 その他(自由記述 )</p>		

Q47. 確保が困難な職種に○を付けてください。また、困難と感じる理由について、考えられるものに○を付け  
(複数回答可)、その中で最も困難と感じる理由を1つ選択してください。

01 歯科医師	01 都内では歯科医師の確保をめぐる医療機関間の競争が生じているため 02 非常勤勤務や柔軟な勤務を希望する歯科医師が多く、常勤歯科医師の確保が難しいため 03 業務内容（訪問診療なし等）について希望条件が厳しく、マッチしにくい 04 歯科医師の募集をかけても応募数が少ない・募集に対する反応が乏しいため 05 歯科医師が診療所勤務に魅力を感じにくく、勤務環境への不安（1人勤務、負担感など）があるため 06 歯科訪問診療や在宅医療など、診療所特有の業務経験を持つ歯科医師が限られているため 07 歯科医師の雇用に必要な人件費や紹介手数料が高く、経営的な制約があるため 08 その他（自由記述） ⇒ 選択した理由のうち、最も困難と感じる理由（ ）
02 歯科衛生士	01 都内では歯科衛生士の確保をめぐる医療機関間の競争があるため 02 非常勤勤務や短時間勤務を希望する歯科衛生士が多く、勤務条件と合致しにくい 03 歯科衛生士の採用活動を行っても、応募者が少ない・募集に対する反応が乏しいため 04 歯科訪問診療や在宅医療など診療所特有の業務経験を持つ歯科衛生士が少なく、業務に不安を感じやすい 05 1人または少人数体制となることが多く、歯科衛生士が業務負担や責任に不安を感じやすい 06 病院勤務に比べて診療所勤務の給与水準や福利厚生が見劣りすると認識されやすい 07 歯科衛生士紹介会社の費用が高額で、採用コストの負担が大きい 08 その他（自由記述） ⇒ 選択した理由のうち、最も困難と感じる理由（ ）
03 コメディカル (看護師、放射線技師、臨床検査技師、管理栄養士、理学療法士など)	01 都内ではコメディカル職の確保をめぐる医療機関間の競争があるため 02 常勤ではなく非常勤や短時間勤務を希望する応募者が多く、勤務条件と合致しにくい 03 コメディカル職の採用活動を行っても、応募者が少ない・募集に対する反応が乏しい 04 診療所勤務に不慣れな人材が多く、即戦力となる人材が限られているため 05 業務内容の幅が広く、1人職種となることが多いため、応募者にとって負担が大きいと感じられやすい 06 病院勤務に比べて給与水準や福利厚生が見劣りすると認識されやすい 07 採用に関する外部委託（人材紹介等）の費用が高く、継続的な採用が困難なため 08 その他（自由記述） ⇒ 選択した理由のうち、最も困難と感じる理由（ ）
04 医療事務	01 都内では医療事務職の確保をめぐる医療機関間の競争があるため 02 経験者が少なく、医療保険制度やレセプト業務に対応できる人材が限られているため 03 短時間勤務や扶養内勤務を希望する応募者が多く、勤務条件と合致しにくい 04 医療事務職の採用活動を行っても、応募者が少ない・募集に対する反応が乏しい 05 医療事務に診療補助や受付、庶務など幅広い業務を求められるため、業務負担が大きいと見られやすい 06 他業種（一般事務、調剤薬局など）と比較して給与水準や福利厚生が見劣りすると認識されやすい 07 小規模な診療所では1人配置での勤務が多く、責任や孤立感から敬遠されやすい 08 その他（自由記述） ⇒ 選択した理由のうち、最も困難と感じる理由（ ）

Q48. 病院、他の診療所、介護施設等との連携について、現在行っている取組、今後強化したい取組として当てはまるものをお選びください。(複数回答可)

	現在行っている	今後強化したい
<p><b>【病診連携】</b></p> <p>01 病院への紹介を日常的に行っており、逆紹介や診療情報提供を受ける体制がある</p> <p>02 病院と検査・画像診断・入院の機能分担に基づく連携を行っている</p> <p>03 地域の基幹病院や地域医療支援病院と地域連携パスやカンファレンス等で情報共有している</p> <p>04 緊急時の受入先病院と事前に連携体制を確認し、円滑な対応ができるようにしている</p> <p>05 特に積極的な連携は行っていない</p> <p>06 その他（自由記述）</p>		
<p><b>【診診連携】</b></p> <p>01 特定の診療科や専門性のある診療所に対して紹介・逆紹介を行っている</p> <p>02 他の診療所と患者のセカンドオピニオンや継続治療の相談を行っている</p> <p>03 歯科医師会や地域の勉強会などを通じて他の診療所と定期的に情報交換している</p> <p>04 特定の疾患（例：歯科矯正、インプラントなど）について専門的な診療所との役割分担を行っている</p> <p>05 特に積極的な連携は行っていない</p> <p>06 その他（自由記述）</p>		
<p><b>【介護施設・福祉関係との連携】</b></p> <p>01 ケアマネジャーや介護職と電話・FAX等で個別ケース対応を行っている</p> <p>02 通所施設（デイサービス、デイケア）と利用者の健康情報について情報交換している</p> <p>03 介護施設（特養、有料老人ホーム等）から体調不良時の診療依頼を受けることがある</p> <p>04 地域包括支援センターや行政担当者と患者の生活支援について連携している</p> <p>05 特に積極的な連携は行っていない</p> <p>06 その他（自由記述）</p>		

Q49. 病診連携や診診連携、介護施設との連携における課題について、該当する番号に○をつけ、その中で最も重要な課題と感じているものを1つ選択してください。(複数回答可)

病診連携	01 病院からの診療情報（紹介状・検査結果・入院経過等）のフィードバックが不足している 02 紹介・逆紹介の手続きや連絡が煩雑で、迅速な対応が困難である 03 緊急時の病院受け入れ体制が不明確または機能していない 04 病院の担当者や診療科との日常的な関係性や連絡手段が希薄である 05 地域連携パスやICTツールの運用ルールや共有体制が統一されていない 06 病院と診療所の役割分担や連携の必要性に関する認識の差がある 07 その他（ ） ⇒ 選択した理由のうち、最も重要な課題と感じているもの（ ）
診診連携	01 他診療所からの診療情報（紹介状・検査結果・入院経過等）のフィードバックが不足している 02 紹介・逆紹介の手続きや連絡が煩雑で、迅速な対応が困難である 03 連携すべき診療所の専門性や連絡先等の情報が十分に把握できていない 04 歯科医師間の顔の見える関係がなく、紹介や相談がしにくい 05 診療所間で情報共有を行うためのICT環境が整っていない 06 診療報酬上の評価が乏しく、連携に取り組むインセンティブが低い 07 その他（ ） ⇒ 選択した理由のうち、最も重要な課題と感じているもの（ ）
介護施設との連携	01 ケアマネジャーや施設職員との連絡手段が電話・FAX中心で、情報共有に時間がかかる 02 医療と介護の間で治療方針や判断基準にギャップがある 03 施設職員の医療的理解や対応力にばらつきがあり、連携が不安定 04 訪問診療や往診のタイミング調整が困難で、効率的な連携ができない 05 歯科医師・スタッフの時間的余裕がなく、介護側との丁寧な調整が難しい 06 行政・地域包括支援センター等の支援体制や連携窓口が不明確 07 その他（ ） ⇒ 選択した理由のうち、最も重要な課題と感じているもの（ ）

Q50. 令和6年4月1日～令和7年3月31日までの1年間の、貴院における外国人患者の診療実績について御回答ください。

①外国人患者の診療の実績はありますか。

- 01 実績有 →②へ  
 02 実績無 →③へ

② 外国人患者の国籍・地域、人数について御回答ください。(複数回答可)

- 01 韓国 人  
 02 中国 人  
 03 台湾 人  
 04 香港 人  
 05 タイ 人  
 06 インドネシア 人  
 07 フィリピン 人  
 08 ベトナム 人  
 09 アメリカ 人  
 10 オーストラリア 人  
 11 その他 人  
 12 不明 人

→Q51 へ

③ 外国人患者の診療実績が無かった理由について御回答ください。

- 01 受入可能だが患者が来院しなかった  
 02 受入体制が整備されておらず受入不可能

Q51. 貴院における外国人患者の受入体制整備状況について御回答ください。該当する番号に○を付けてください。(複数回答可)

- 01 体制整備方針を策定している
  - 02 受入担当部署を設置している
  - 03 対応マニュアルを作成している
  - 04 外国人患者に関しては1点10円以外で医療費を請求している ⇒1点( )円
  - 05 キャッシュレス決済を導入している ⇒具体的な決済サービス名( )
  - 06 通訳を配置している
  - 07 通訳サービスを利用している(電話、ビデオ)  
⇒【07と回答した医療機関にお聞きします】利用している通訳サービスについて御回答ください。(複数回答可)
    - 01 国の通訳サービス(希少言語に対応した電話通訳サービス)
    - 02 都の通訳サービス(医療機関向け救急通訳サービス)
    - 03 民間事業者の通訳サービス
  - 08 翻訳機等多言語対応ツールを導入している ⇒具体的なツール名( )
  - 09 院内文書を多言語化している
  - 10 案内表示を多言語化している  
⇒【10と回答した医療機関にお聞きします】多言語化している案内表示について御回答ください。(複数回答可)
    - 01 デジタルサイネージ
    - 02 紙掲示
    - 03 看板・案内板
    - 04 その他
  - 11 ホームページを多言語化している
  - 12 院内スタッフへの教育・研修を実施している
  - 13 やさしい日本語を活用している
  - 14 関係機関(都、区市町村、出入国在留管理庁、警察、大使館領事館、地域の医療機関、旅行会社、宿泊施設)と連携している  
⇒【14と回答した医療機関にお聞きします】具体的な連携先( )
- ※「やさしい日本語」とは、難しい言葉を言い換えるなど、相手に配慮したわかりやすい日本語のことです。詳細はこちらをご覧ください。[https://www.hokeniryu.metro.tokyo.lg.jp/iryo/iryo\\_hoken/gaikokujin/gaikokujintaiou/yasashiinihongo](https://www.hokeniryu.metro.tokyo.lg.jp/iryo/iryo_hoken/gaikokujin/gaikokujintaiou/yasashiinihongo)

Q52. 外国人患者を受け入れた際に発生したトラブルの有無について御回答ください。

①外国人患者を受け入れた際に発生したトラブルはありましたか。

- 01 無 →Q60へ
- 02 有 →②へ

②トラブルの内容について御回答ください。(複数回答可)

- 01 言語・コミュニケーション(受付時)
- 02 言語・コミュニケーション(診察時)
- 03 言語・コミュニケーション(会計時)
- 04 医療費の請求・支払
- 05 他の患者との間でのトラブル
- 06 宗教・文化・慣習等の違いに起因するトラブル
- 07 その他

③ トラブルの具体的な内容を御記入ください。( )



